

守ろう灯油の安定供給！ 宮城の冬をみんなの力で暖かく！

灯油対策本部 NEWS

～2009～

《発信元》

宮城県生活協同組合連合会

責任者：加藤 房子

TEL 022-276-5162

FAX 022-276-5160

2010. 02. 23 第4号

●増子輝彦経済産業副大臣と北海道・東北の各生協連からの代表者が灯油に関する意見交換を行いました。

2月9日（火）経済産業省副大臣室において、北海道・東北の生協連などからの代表9人が 原油先物市場に投機資金が過大に流入していることや灯油の製品在庫が過去例を見ない低い水準となっているなどの情勢認識が背景にあって、政府並びに経済産業省に要望を伝えるために、増子輝彦経済産業副大臣と意見交換を行いました。

■ 参加者

菅野敏夫事務局長（福島県労働福祉協議会）

熊谷純一会長・佐藤一夫専務（福島県生協連）

沼田 聡総務課長（岩手県学校生協）、大友廣和専務（山形県生協連）

住吉 登事務局長・斉藤浩輝事務局（日本生協連北海道・東北地連）

伊藤貞男専務（北海道生協連）、加藤房子（宮城県生協連）



【主張1】原油価格高騰に対し、国として適正な価格形成がされるように、国際的リーダーシップを取ってほしい。

【主張2】現在の在庫水準では、今後の供給不足が心配である。全国的な寒波の到来において、国として不測の事態に敏速に対応してもらいたい。

【主張3】灯油価格の値上がりぐらしを厳しくするため、2008年度に実施したような国の支援策（地方自治体へ「灯油購入費助成」）の再検討をお願いしたい。